

# 経口薬メトホルミンがインスリンより優れる点について

発症後間もない2型糖尿病患者においては、短期の強化インスリン療法を施行後、間欠的な強化インスリン療法を継続するよりも、メトホルミン治療の方が2年間の良好な血糖コントロールが得られることが「Diabetes, Obesity and Metabolism」オンライン版に掲載されています。



トロント大学（カナダ）内分泌内科の Ravi Retnakaran 氏らは、罹病期間が約 2 年で HbA1c 値が 6.4% を示す成人の 2 型糖尿病患者 24 人を対象に、強化インスリン療法を 3 週間導入後に、強化インスリン療法を 3 カ月ごとに最長 2 週間反復する群（間欠的強化インスリン療法群）とメトホルミンを連日投与する群に分けて 2 年間観察しました。



その結果、間欠的強化インスリン療法群と比べてメトホルミン投与群では、2年後のHbA1c値は低いことが分かりました（ $6.0 \pm 0.2\%$ 対  $7.3 \pm 0.2\%$ 、 $P=0.0006$ ）。

また、試験終了時のHbA1c値が6%以下だった患者の割合は、メトホルミン投与群では66.7%だったのに対し、間欠的強化インスリン療法群では8.3%にとどまりました（ $P=0.009$ ）。

